

平成31年1月13日

◎平成31年 東大和市消防出初式

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

新春の穏やかな日の中、東大和市消防団の出初式が、市立第一中学校で挙行されました。パレード・消防演技・車両行進・一斉放水など、整然とした式典を、多くの市民の皆様も見学いたしました。

★入場行進・整列





★開式の辞(並木副団長様)



★国旗掲揚



★団旗奉迎



★人員及び機械器具の報告



★市長式辞



★団長訓示



★市議会議長挨拶



★消防署長挨拶



★表彰



★観閲



東京都三多摩消防団連絡協議会長表彰
東京消防庁北多摩西部消防署長表彰
東大和市長表彰
東大和市消防団長表彰 など

★車両分列行進





★消防演技(一斉放水)



★来賓祝辞



★団旗送還



★閉式の辞(目黒副団長様)



平成 31 年 東大和市消防出初式



と き・平成 31 年 1 月 13 日（日）
午前 9 時 50 分開式
ところ・東大和市立第一中学校

ごあいさつ

平成31年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

伝統と格式ある東大和市消防出初式が皆様のご協力のもと、盛大に挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

消防団員の皆様には、強い使命感のもと昼夜を問わず災害対応活動にご尽力されていることに対しまして、重ねて厚く御礼申し上げます。

今後も市では、市民の生命と財産を災害から守るため、より一層の防災体制の充実、強化に努めていく所存でありますので、皆様におかれましては、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



平成31年 新春

東大和市長 尾崎 保夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成31年の東大和市消防出初式が挙行されるにあたり、ご臨席賜りました皆様方には、平素からご指導、ご鞭撻を頂きまして、厚く御礼申し上げます。

私共東大和市消防団は、市民の皆様の生命と財産を災害から守るため、全団員が一致団結し、活動しております。

今後も、尚一層の努力をしていく所存でありますので、本年も皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の弥栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成31年 新春

東大和市消防団長 星野 誠

(翻轉)

式次第賞受

津島及全園樹藝園初階事を三聯東京

- | | |
|------------------|---------------|
| (1) パレード | 並木副団長指揮 |
| (2) 入場行進 | 福原副団長指揮 |
| (3) 整 列 | 福原副団長指揮 |
| (4) 開式の辞 | 並木副団長 |
| (5) 国旗掲揚 | 福原副団長指揮 |
| (6) 団旗奉迎 | 目黒副団長 |
| (7) 人員及び機械器具の報告 | 星野団長、他 |
| (8) 市長式辞 | 尾崎市長 |
| (9) 団長訓示 | 星野団長 |
| (10) 市議会議長挨拶 | 押本市議会議長 |
| (11) 消防署長挨拶 | 塩賀北多摩西部消防署長 |
| (12) 表 彰 | 表彰代表者等 |
| (13) 観 閲 | 団役六郎 |
| (14) 消防演技に伴う隊形移動 | 福原副団長指揮 |
| (15) 車両分列行進 | 並木副団長指揮 |
| (16) 消防演技 (一斉放水) | 目黒副団長指揮 |
| (17) 整 列 | 並木副団長・福原副団長指揮 |
| (18) 来賓祝辞 | 目黒副団長 |
| (19) 団旗送還 | 福原副団長指揮 |
| (20) 国旗降納 | 目黒副団長 |
| (21) 閉式の辞 | 目黒副団長 |

※ 雨天時は一部変更します。

津島及全園樹藝園初階事を三聯東京

津島及全園樹藝園初階事 (1)

名 氏	職 名	職 名
津島 田 森	員 団	団役一階
藤 真 内 村	員 団	団役二階

受賞名簿 (敬称略)

1 東京都三多摩消防団連絡協議会長表彰

優良表彰

分 団 名
第三分団

2 東京消防庁北多摩西部消防署長表彰

(1) 優良表彰

分 団 名
第三分団
第六分団

(2) 応急教養指導活動功労表彰

所 属	階 級	氏 名
本部	副団長	日黒 雄介
第一分団	部 長	藤原 隆
女性部	団 員	清水 千秋
第一分団	団 員	廣田 憲司

3 東大和市長表彰

(1) 功績表彰

所 属	階 級	氏 名
第一分団	分団長	森田 智和
第二分団	分団長	竹内 真徳

(2) 年功褒表彰

分 団 名
第三分団

(3) 永年勤続表彰 20年

所 属	階 級	氏 名
本部	副団長	日黒 雄介

4 東大和市消防団長表彰

(1) 永年勤続表彰 20年

所 属	階 級	氏 名
第五分団	班 長	小嶋 一星
第六分団	団 員	関口 正弘
第三分団	団 員	阿部 祐樹
第七分団	団 員	前島 孝弘

(2) 永年勤続表彰 15年

所 属	階 級	氏 名
第五分団	班 長	廣田 康平
第二分団	団 員	内堀 謙

(3) 永年勤続表彰 10年

所 属	階 級	氏 名
第三分団	班 長	関田 鉄平
第一分団	団 員	原 義弘
第四分団	団 員	小松 豊

(4) 精勤表彰

所 属	階 級	氏 名
女性部	団 員	三次 梨絵
第一分団	部 長	藤原 隆
"	団 員	門屋 昭馨
"	団 員	高橋 拓也
第二分団	副分団長	鈴木 貞和
"	班 長	斎藤 憲二
第三分団	団 員	伊古田 貴司
"	団 員	尾崎 晃
"	団 員	池田 伊織
第四分団	団 員	保坂 正哉
"	団 員	粕谷 胸太郎
"	団 員	柘植 俊大朗
第五分団	団 員	鈴木 和洋
"	団 員	飯村 竜也
"	団 員	小澤 舟平
第六分団	団 員	佐々木 雄一
"	団 員	酒井 努
"	団 員	古谷 敬
第七分団	団 員	田辺 信夫
"	団 員	前島 孝弘
"	団 員	宮寺 良洋

(5) 退団者感謝状

所 属	階 級	氏 名
第七分団	団 員	二瓶 一哉
第五分団	団 員	荒畑 喜一
第七分団	団 員	横井 敬雄
第七分団	団 員	横井 将希
第七分団	団 員	荒畑 裕志
第四分団	団 員	堀 尚行

東大和市消防団の現況

東大和市消防団は、本部（正・副団長）を中心に、7個分団（第一分団19名、第二分団17名、第三分団21名、第四分団20名、第五分団16名、第六分団22名、第七分団27名）及び女性部（「やまとなでしこ」）7名で組織し、現在153名の消防団員で活動しています。

機械装備の配備状況は、本部指揮車1台、広報車1台、各分団に消防ポンプ車1台、計9台の車両が配置されています。

さらに、山林火災や大規模災害に備え、より機動力を発揮するため可搬式ポンプ及び発電機が全分団に配備されています。

こうした現有装備を有効に活用し、市民の生命・財産を守るため、日夜訓練を実施しています。

また、防災活動として、従来からの警戒活動などの他、自治会や地域防災組織で行われる防災訓練で、初期消火訓練、AEDを使用した応急救護訓練の指導を数多く行い、市民の災害対応能力のレベルアップに努めています。

東大和市消防団では、大規模災害時における消防団のあり方について検討を行い、平成20年4月に『災害時ポンプ隊・機動二輪隊・特別活動隊』の災害時三隊を発足させました。

《災害時三隊の特徴》

①災害時ポンプ隊

同時多発的に発生した火災に対応するため、配備されている資機材を最大限活用することを目的に発足しました。各分団のポンプ車で対応しきれない場合に団員所有の貨物車等に必要な資機材を積載し、第二ポンプ隊として活動します。

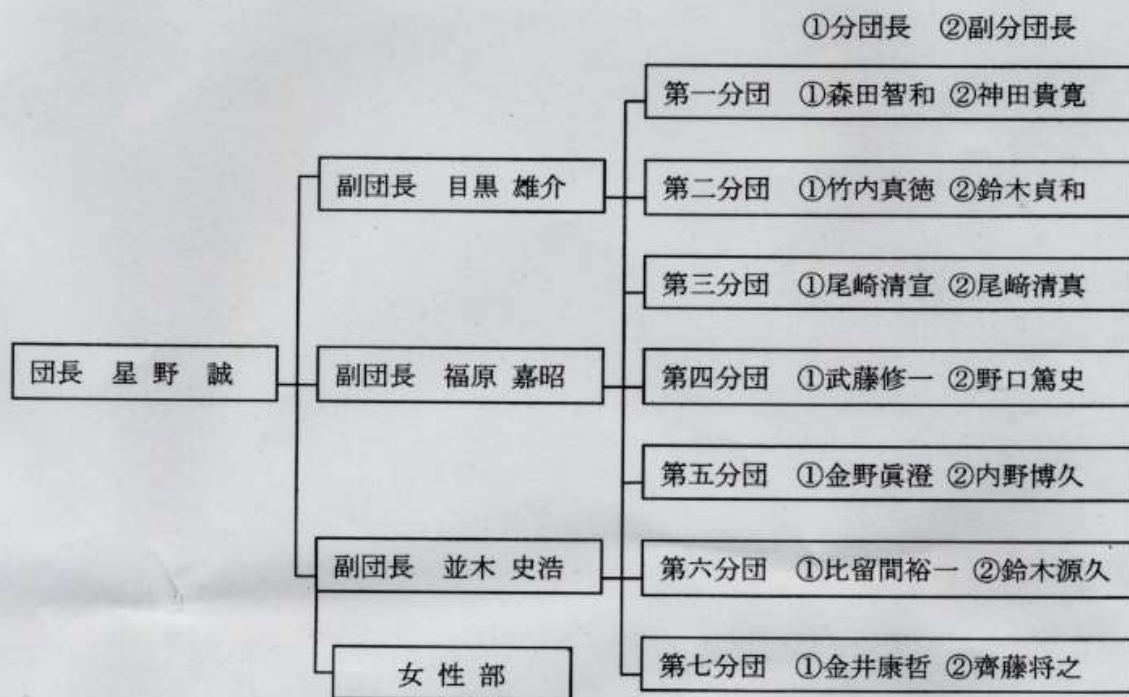
②機動二輪隊

大震災の発生に伴い、建物の倒壊、道路の損壊等により、市内の被害状況の把握が困難な場合に、機動力に優れた二輪車を活用して情報収集することを目的として発足しました。団員所有の二輪車2台1組で受持区域の情報を収集します。

③特別活動隊

大震災の発生に伴い、多くの建物が倒壊し、下敷きになっている要救助者があ
る場合に、団員個々の特殊技能や団員所有の資機材（重機等）を活用して、一人でも多くの人命を救助することを目的に発足しました。消防団本部は、被害状況により有資格者及び資機材（重機等）を選定、招集し、担当副団長を総指揮者として活動します。

<組 織>



<構 成>

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	総 数
団員数	1	3	7	7	15	17	103	153

以 上